

部痛」「心窩部重圧感」など胃症状は少なくなっている。「新愁訴」では、非下腹部痛が最も多く 28.6% に「季節性腹痛」「背部痛」が 18.6% でこれにつぎ胃症状の出現はほとんど見られない、これら愁訴を「潰瘍群」と「胃炎群」について分けてみると「持続愁訴」「新愁訴」とも胃炎群が潰瘍群を上廻っている。しかし「胃の調子がよい」とか「悪い」とかいう点からみると胃炎でも 77.3% の症例でよく、これらのカメラを振返ると表層性胃炎が一般に術後胃調の良好なものが多い。また体調は 62.9% が良好であるのに胃調は 84.3% となっており、体調の悪化例では術後 3 カ月以内、肝腎障害、高血圧、糖尿病などの合併症のあるものが多い、また器質的疾患の合併するものには、パンミーホップ錠を用い、術後残胃の微細病変の発現に、癒着のある場合ソルビトールを用い時間的追求を行ない癒着部位の発見に努めている。また癒着防止のために返し縫いを行ない好成績を得ている。

71. 慢性胃病の経過観察中発見し、手術施行後正常生活中の早期癌および比較的早期癌の 3 例（とくにその診断経過について）

加瀬貞治、加瀬三郎（加瀬外科病院）

72. 最近経験した胃癌手術症例の X 線像と胃カメラ像について

新井洋太郎（埼玉県久喜町新井病院）

最近 1 年間の手術症例の中より興味あるものを発表する。

第 I 例 63 才男子、胃体部後壁の拇指頭大の比較的早期癌

第 II 例 41 才女子、最初のカメラにて所見があったが見落された。5 カ月後手術を受けたが粘膜に局限された早期癌

第 III 例 43 才男子、癌センターにて胃ポリープと診断されたがカメラにて噴門大彎に癌を発見した。第 IV 例 32 才男子、胃体部大彎の拇指頭大の癌。第 V 例 55 才男子、胃体部潰瘍と幽門に独立した癌腫の共有例

第 VI 例 65 才男子、レ線上、巨大潰瘍と診断されたが、カメラにて腫瘍と診断される。標本は手拳大の腫瘍が胃体部小彎にあり組織学的には Leiomyoma であった。

73. 癌を伴った食道ポリープの一治験例

高橋 康、黄 江 庭（熊谷協同病院外科）

最近われわれは熊谷協同病院において、下部食道に発生した癌を伴ったポリープの一治験例を得たので報告し

た。症例、患者は 58 才、男性、主訴は心窩部の膨満感と通過障害。既往歴、家族歴としては特記すべきことなし、現病歴は昭和 41 年 5 月頃より心窩部の圧迫感、通過障害が現われ、X 線検査で食道下部の陰影欠損を指摘された。入院時検査成績では肝機能に中等度の障害あり、出血時間、凝固時間の軽度延長あるほか、とくに異常はない。X 線所見では食道第 2 狭窄部下約 3 cm に鳩卵大の中心性陰影欠損あり、その表面に幾つかの粗大な隆起がある。手術は昭和 41 年 8 月 1 日、右開胸下部食道噴門切除、胸壁前食道胃吻合術を行ない、術後経過良好で 10 月 12 日退院した。摘出標本は 2.5×3 cm、高さ 1.5 cm の鳩卵大、表面円滑で広基性のポリープ状の腫瘍で、組織学的所見では、粘膜より隆起し、表面は薄い粘膜で覆われ中央はびらん状となったポリープで、主として粘膜下に増殖した単純充実癌である。

74. 食道の早期癌 2 例について

野本昌三、岩塚迪雄、遠藤光夫、
望月宜之、御子柴幸男、山田明義、
鈴木 茂、秋田善昭、中村光司
（東京女子医大消化器病センター）

消化器センターも開設以来すでに 1 年 9 カ月を経過し、この間外来を訪れた食道癌患者数は 247 例、また食道噴門癌手術例数は 237 例でその切除率 62.4% で根治手術不能の進行癌が多い。これらのうち 2 例の食道早期癌を発見したので報告する。

症例 1 は 51 才の女子で X 線で疑診され、食道鏡、生検で確診し、右開胸開腹胸部食道全剝胸壁前食道胃吻合を施行、全治退院している。切除標本は 1.8×1.5 cm の腫瘍で潰瘍ではなく、病理組織学的には癌浸潤は粘膜下層までに止まる扁平上皮癌であった。

症例 2 は 70 才の男子で X 線、食道鏡で確診、空腸瘻を造設して Co⁶⁰ 2340 レントゲン照射後、右開胸々部食道全剝頸部食道外瘻造設術施行全治退院した。切除標本は 1.2×0.8 cm の腫瘍で、組織学的には局所の炎症は強く、粘膜面にえ死巣が著明でその下層に空胞変性、核濃染などを伴う扁平上皮癌でその浸潤は粘膜下層までに止まっていた。

75. 腹部再手術 70 例の検討

鋤柄秀一（田島病院、古川胃腸病院）

両国の田島病院 1 カ年と市川の古川胃腸病院 2 カ年で 236 例の開腹手術をし、そのうち 70 例の再手術があった。29.6% と多いのでこれを検討した。

誤診によるものは甚だ少なく奇型、外傷、外妊、胆石